

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

No.40 (1982~1983)

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

第40回例会 昭和58年5月31日(火)曇

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 47名 出席 34名
出席率 72.34%

◇前回 5月24日(修正出席率)100% make up

安藤君(5/25南), 加藤(敏)君(5/26瑞穂), 加藤(保)君(5/28守山), 黒野君(5/26瑞穂), 久保田君(5/27北), 水野(賀)君(5/30空港), 成田君(5/20港), 西川君(5/26東南), 笹野君(5/25南), 杉山君(5/19瑞穂), 鈴木(正)君(5/16空港), 鶴飼君(5/26瑞穂)

◇ビジター紹介 2名

◇誕生日祝福

黒須君(6/1), 小林夫人(6/4)

◇ニコボックス

東RCガバナーエイド山田巖男君(御無沙汰致しました), 谷口君(本日卓話させて頂きます), 佐野君(NHK婦人百科6月に出演します), 寺澤君(本日卓話させて頂きます), 大口君(5月ゴルフ会優勝しました), 水野(民)君(本日カルタを配らせて頂きます), 加藤(保)君(市内RC麻雀大会で優勝しました), 水野(賀)君(第2回麻雀会を終わらせて頂きました), 鈴木(猛)君(厚生年金会館のPRさせて頂きました), 黒須君(誕生日祝), 小林君(夫人誕生日祝)

◇松居幹事報告

1. 本日例会終了後, 理事会を行いますので今年度・次年度の理事, 役員の方々はお残り下さい。

◇水野(民)会長挨拶

第40回の例会が東RCガバナーエイド山田巖男君を迎え, 開会できます事を感謝します。本日, 皆さんにお配りしたカルタは昭和8年

に刊行したもので, スポンサーの3分の1程の方々が普通りでございます。当時をふり返ると白木屋百貨店の火災, 名古屋に火災報知機を518基設置されたことなどがあります。

「地震・雷・火事・親父」などと言われておりますが, 火事については心がかひとつで防ご事のできる全くの人災でありましょう。火に対しての心構えを県民から募集し, 13,000余の中から選ばれたもので, 非常に言い易い口調になっております。いろはの(い)は色と食い気は八分でやめて火の用心は十二分, 等楽しく火災予防が学べそうです。家族の皆さん又会社の方々にも宣伝あらんことを祈っております。

◇講演

“出版界の現状”

会員 谷口 暢宏 君

出版も軽・薄・短・小の時代に出版界の昨年の売上高は1兆5,438億円, 対前年比4.3%の伸びであった。しかし書籍は57年の出版点数41,334点で前年並みではあるが, 重・再版点数は前年を大きく割った。これはロングセラーの売行き不振と, 新刊に依存する出版界の体質がくっきりあらわれたといえよう。



こうした中で, 12年ぶりにミニオンセラーが4点生まれた。「プロ野球を10倍楽しく見る方法」, 「悪魔の飽食」, 「窓ぎわのトットちゃん」, 「気くぼりのすすめ」だが, いずれもノンフィクションであることと共に, TV等を通じて身近な著者のキャラクターが読者に受け入れられたといえよう。全国的にいえることは, 読む本から見る本へ, 知性に

訴えるものから、フィーリングに訴えるものへ、堅い内容から軽い内容へと流れが強まり、出版界も「軽薄短小」の時代に入ったといえる。

進むビジュアル化—雑誌は創刊誌が相変わらずラッシュで182誌。しかし裏腹に休刊誌も115誌と浮沈が激しいが、「プレイボーイ」などヤング向のもの、クルマ誌、ゴルフ誌が大幅な伸びを示しているのに対して、出生数の減少と消費の低迷から、母親の買控えがあって、小学生の学年誌が低調である。総じていえることは、「フォーカス」の驚異的な伸長ぶりが示すように視覚化が進み、活字も大型となって軽読書を楽しむ流れとなってきた。書店業界も再版で定価販売が守られているものの、低マージン、読者志向の変化、企画の貧困など、業界にとって問題は多く、個性的で魅力ある書店づくりはなかなか困難な現状となっている。

“動物とヒト(動物学的人間像)”

会員 寺澤 竹三郎 君

ヒトは動物学からは哺乳類、霊長目、類人猿上科、ただ一つの種ホモ・サピエンスに属する。約1,300万~1,500万年前ジャングルにいた猿のようなヒトがサバンナに出て狩りを行い、特に約200万年前よりの進展により今日の文化を持つ人間が誕生した。



動物学から人間と動物と異なる一面は1)偉大なち密な脳を持つ、2)裸の動物、3)立つ、手を使う、4)一年中セックスをする、5)強力な、大きな群れ、なわばりをつくり、組織化された社会をつくる等である。

動物は食物連鎖により生存し、限られた地域で生命の維持と種の保存に努めている。

人の行動は荒野を旅し、狩りをし、食物を貯え、またなわばり意識は強く、競争的であり、一面協調的である。同種の人を殺す野生動物にない姿を見る。

野生動物を動物園の飼育下に置くと、自然界にない姿を見る。1)寝てばかりの怠惰な動物、2)ノイローゼ、3)弱者へのリンチ、4)おべっかを使う、5)異常セックス、6)隣接動物への常時の威圧等、せまい動物舎、過密、人の支配下のひずみの現象を見る。

近時、都市を「人間動物園」と云う動物学者がいる。都市の人間は細分化された均一労働と一方生活が保障され、核家族、単調な生活、余暇、狭い範囲におしつけられたなわば

り等にあえいでいる。一方、偉大な脳が誘発し、“刺戟”を求め、また“刺戟”につかれた人間の姿を見る。

文化を持つ人間が、動物の一種の立場から自然の在り方を考え、「飼育された人間生活」あるいは「人間動物園」から脱却し、真の人間らしい生き方をしなければならない。

◇国際ロータリー第260地区協議会 開催案内
日 時 昭和58年6月19日(日)

登 録 9:30~10:00

本会議 10:00~15:30

場 所 名古屋市公会堂1F及び4F

参加者

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 次期クラブ会長 | 竹 田 真 三 |
| 2. 次期クラブ幹事 | 三 輪 康 |
| 3. 次期クラブ奉仕副委員長 | 石 田 耕 嗣 |
| 次期会員増強委員長 | 鈴 木 猛 |
| 4. 次期職業奉仕副委員長 | 小 林 正 幸 |
| 5. 次期社会奉仕委員長 | 菊 池 昭 元 |
| 6. 青少年奉仕委員長 | 西 川 豊 長 |
| 7. 次期国際奉仕委員長 | 林 淳 三 |

◇第7回ゴルフ会成績(5/26, 葛城CCにて)

R	NAME	O	I	GH	cp	NET
優勝	大口 弘和	47	55	102	30	72
2位	菅原 宣彦	46	50	96	17	79
3位	松居 敬二	43	47	90	10	80
4位	鈴木 正男	47	52	99	18	81
5位	秋山 茂則	48	49	97	16	81
BB	加藤 大豊	64	50	114	26	88

(参加者8名)

◇例会変更のお知らせ

- 6月13日(月) あまRC 創立記念例会の為
名鉄グランドホテルにて
午後6時より
- 6月18日(土) 守山RC FSMの為、金馬
簾(笹島店)にて午後5時より
- 6月20日(月) あまRC 地区協議会全員参
加の為6/19午前10時より

◇次回例会(6月7日)

- 卓話 “医薬品談議”
会員 都築 勝彦君
卓話 “水について”
会員 鶴飼 一男君

◇次々回例会(6月14日)

- 卓話 “呉服の変遷”
(株)ほていや 取締役社長 猪飼 誉之氏
(紹介者 山村誠二君)